

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 中村 清志

- I 開催年月日 令和元年 11 月 21 日（木）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 17 分
III 出席委員等 [出席委員] ◎中村 清志 ○曾田 康司 山口 泰祐
石須 大雄 藪中 一夫 吉田 健太郎
本田 利麻 高畠 義一
(◎…委員長 ○…副委員長)
[議長] 狩野 安郎
[副議長] 坂林 永喜
[説明員] 別紙名簿のとおり（藪下病院長は公務のため欠席）
[委員外議員] 角田 悠紀 高岡 宏和
[事務局職員] 安東 浩志 松本 武司 室川 弘昭
堀田 寛之
[傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

[福祉保健部]

- 。国民健康保険加入者あて「医療費のお知らせ」の送付時期の変更について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

2 その他

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

【イノシシ被害の対策について】

- イノシシ被害の対策について関係課がそれぞれ対応を取っているとのことだが、その連携がみえてこない。市民の安全のためには、全庁的な対策が必要と考えるが、見解は。

△ 連携の取れた全庁的な対策が求められていることを所管している農業水産課に伝え、連携を強化したい。

【消防団の取り組みについて】

○ 消防団の秋季検閲訓練の総括を。

△ 4方面団とも天候に恵まれ、地震災害を想定した倒壊建物救出訓練、それに伴う同時火災対応訓練を行うことができた。消防団の皆様の日頃の訓練成果が発揮されていたと思う。また、訓練体験により地域住民の防火意識の向上につながったと考えている。

○ 消防団員としては、これらの訓練は大変ありがたいが、準備している消防職員の負担が大きいと聞いており、その負担を少しでも軽減してほしい。

△ 過重な業務量については、管理をしていかないといけないが、訓練の準備や実施は職員の仕事の一部であり、地域住民や消防団員との調整を行うことは、職員の人材育成にもつながっているので、ご理解いただきたい。

【手術支援ロボットダヴィンチについて】

○ 砺波総合病院では、ダヴィンチを泌尿器科の手術に留まらず、胃がんや大腸がんの手術でも使用するとの報道があった。市民病院では、どの診療科で利用するのか。

△ 泌尿器科と産婦人科での利用を考えており、令和元年12月中に泌尿器科で1件、産婦人科で2件の手術を予定している。まずはこの診療科において実績を上げていきたいと考えている。

○ 将来的にダヴィンチを利用する診療科を増やす予定はあるか。

△ 今すぐにとすることは考えていないが、外科系のダヴィンチ手術も保険適用になってきており、将来的には利用する診療科が増えると考えている。

○ 大きな金額で購入していることからダヴィンチをしっかりと有効活用してほしい。（要望）

【災害ゴミの受け入れについて】

○ 令和元年10月に発生した台風第19号による水災害で発生した災害ゴミの受け入れについて、本市の方針は。

△ 現在、県内では、富山地区広域圏事務組合、射水市が災害ゴミの受け入れを行う予定と聞いており、本市としても可能な範囲で、できる限り協力していきたいと考えている。現在、どのような協力ができるかについて、県に相談するなど、情報収集に努めているところである。

○ 迅速に情報収集を行い、速やかに行動に移してほしい。（要望）

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（24名）

市民生活部長	梅 崎 幸 弘	市民病院長	藪 下 和 久
市民生活部次長 地域安全課長・環境政策室長	堺 啓 央	市民病院事務局長	崎 安 宏
共創まちづくり課長	室 谷 智	総務課長 栄養管理課長	新 田 裕 子
共創まちづくり課 多文化共生室長	寺 口 昌 代	医事課長	長 田 由 美 子
男女平等・共同参画課長	早 苗 伊 紀 子		
市民課長	赤 阪 典 子	消防長	寺 口 克 己
環境サービス課長	柴 野 泰 彦	消防本部次長	浦 島 章 浩
		総務課長	有 澤 智 文
福祉保健部長	鶴 谷 俊 幸	予防課長	山 口 喜 代 治
福祉保健部次長 参事	西 本 幸 夫	警防課長	布 橋 隆 男
社会福祉課長	山 本 真 弘	通信指令課長	川 端 芳 紀
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	村 上 彰		
高齢介護課長	森 川 朋 子		
保険年金課長	徳 市 直 之		
健康増進課長	山 本 美 由 紀		